



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 6 年度
直轄災害復旧事業
不知火幹線水路復旧実施設計他業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
八代平野農業水利事業所

九州農政局

事業名	直轄災害復旧事業
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務

番号	項 目 名	規 格	数 量	単位	金 額	備 考
	業務費				31,108,000	
	・ 総合業務価格				28,280,000	
	・ 消費税相当額 (10 %)				2,828,000	
	総合業務価格内訳					
	調査業務				13,400,000	
	調査業務 (解析)				1,860,000	
	測量業務				2,480,000	
	設計業務				10,540,000	
	業務内容					
	調査業務					
1	土質ボーリング (オールコア)	66、6 孔	69.000	m		
2	土質ボーリング (ノンコア)	86、4 孔	44.000	m		
3	シンウォールサンプリング		4.000	本		
4	標準貫入試験		69.000	回		
5	現場透水試験		2.000	回		
6	土粒子の密度試験		6.000	試料		
7	土の含水比試験		6.000	試料		
8	土の粒度試験		6.000	試料		
9	土の締固め試験		6.000	試料		
10	三軸圧縮試験 (UU)		4.000	試料		
	調査業務 (解析)					
1	資料整理取りまとめ		1.000	業務		
2	断面図等の作成		1.000	業務		
3	総合解析取りまとめ		1.000	業務		
	測量業務					
1	路線測量 作業計画		1.000	式		
2	路線測量 現地踏査		0.550	km		
3	路線測量 線形決定		0.550	km		
4	路線測量 IP設置測量		0.550	km		
5	路線測量 中心線測量		0.550	km		
6	路線測量 縦断測量		0.550	km		
7	路線測量 横断測量		0.550	km		
	設計業務					
1	開水路実施設計		1.000	式		
2	積算参考資料作成		1.000	式		

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:調査業務

九州農政局

業務別業務名:調査業務

九州農政局

九州農政局

事業名	直轄災害復旧事業
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務

業務別業務名:調査業務

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接人件費～機械経費				6,368,000	
・直接人件費～機械経費	1.000	式		6,368,000	
・・・ボーリング調査	1.000	式		3,744,000	
・・・ボーリング(水路左岸側)	1.000	式	1,159,000	1,159,000	1 式当たり
S62031 【機械ボーリング(地質調査用)】 土質が「リグ(オルコア)」, 66,粘性土・シルト,,50m以下,鉛直下方	4.500	m	14,700	66,150	歩A・単A S単 5号
S62031 【機械ボーリング(地質調査用)】 土質が「リグ(オルコア)」, 66,礫混じり土砂,,50m以下,鉛直下方	31.500	m	34,700	1,093,050	歩A・単A S単 6号
合 計				1,159,200	
・・・ボーリング(水路右岸側)	1.000	式	1,055,000	1,055,000	1 式当たり
S62031 【機械ボーリング(地質調査用)】 土質が「リグ(オルコア)」, 66,粘性土・シルト,,50m以下,鉛直下方	4.500	m	14,700	66,150	歩A・単A S単 5号
S62031 【機械ボーリング(地質調査用)】 土質が「リグ(オルコア)」, 66,礫混じり土砂,,50m以下,鉛直下方	28.500	m	34,700	988,950	歩A・単A S単 6号
合 計				1,055,100	
・・・ボーリング(サンプリング)	1.000	式	1,530,000	1,530,000	1 式当たり
S62031 【機械ボーリング(地質調査用)】 土質が「リグ(ノコア)」, 86,粘性土・シルト,,50m以下,鉛直下方	6.000	m	15,200	91,200	歩A・単A S単 7号
S62031 【機械ボーリング(地質調査用)】 土質が「リグ(ノコア)」, 86,礫混じり土砂,,50m以下,鉛直下方	38.000	m	35,000	1,330,000	歩A・単A S単 8号
S62032 【サンプリング】 シワールサンプリング	4.000	本	27,300	109,200	歩A・単A S単 9号
合 計				1,530,400	
・・・標準貫入試験	1.000	式		987,000	
・・・標準貫入試験 水路左岸側	1.000	式	516,000	516,000	1 式当たり
S62033 【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,粘性土・シルト,	3.000	回	7,980	23,940	歩A・単A S単 10号
S62033 標準貫入試験(基盤面確認用、各地点3回) 標準貫入試験,礫混じり土砂,	33.000	回	14,900	491,700	歩A・単A S単 11号
合 計				515,640	
・・・標準貫入試験 水路右岸側	1.000	式	471,000	471,000	1 式当たり
S62033 【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,粘性土・シルト,	3.000	回	7,980	23,940	歩A・単A S単 10号
S62033 標準貫入試験(基盤面確認用、各地点3回) 標準貫入試験,礫混じり土砂,	30.000	回	14,900	447,000	歩A・単A S単 11号
合 計				470,940	
・・・現場透水試験	1.000	式		205,000	
・・・現場透水試験 水路左右岸1地点	1.000	式	205,000	205,000	1 式当たり
S62033 【サウンディング及び原位置試験】 現場透水試験,ケーシング法,GL-20m以内	2.000	回	102,630	205,260	歩A・単A S単 12号
合 計				205,260	
・・・室内土質試験	1.000	式		300,000	
・・・室内土質試験	1.000	式	300,000	300,000	1 式当たり
P45120 室内土質試験 土粒子の密度試験 JIS A 1202 3個/試料	6.000	試料	6,030	36,180	歩A・単A
P45121 室内土質試験 土の含水比試験 JIS A 1203 3個/試料	6.000	試料	1,520	9,120	歩A・単A
P45122 室内土質試験 土の粒度試験 沈降分析(ふるい分析含)	6.000	試料	14,400	86,400	歩A・単A
P45127 室内土質試験 土の液性限界試験 JIS A 1205 6点/試料	6.000	試料	7,620	45,720	歩A・単A
P45128 室内土質試験 土の塑性限界試験 JIS A 1205 3個/試料	6.000	試料	3,690	22,140	歩A・単A
P45150 室内土質試験 三軸圧縮試験 UU試験 1試料につき3供試体	4.000	試料	25,200	100,800	歩A・単A

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	直轄災害復旧事業					
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務					
業務別業務名:調査業務						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02115	地質調査技師					
	地質調査技師		人	53,200		歩A・単A
	*** S単 - 2号 ***					
S02115	主任地質調査員					
	主任地質調査員		人	41,500		歩A・単A
	*** S単 - 3号 ***					
S02115	地質調査員					
	地質調査員		人	31,400		歩A・単A
	*** S単 - 4号 ***					
S13011	保孔管挿入工 (D-ｸﾚｰ式)					
	保孔管挿入工 (D-ｸﾚｰ式)					
	地表		m	998		歩A・単A
	*** S単 - 5号 ***					
S62031	【機械ボーリング (地質調査用)】					
	【機械ボーリング (地質調査用)】					
	土質ボーリング (ﾎﾙﾃﾞｭ), 66,粘性土・シルト,,50m以下,鉛直下方		m	14,700		歩A・単A
	*** S単 - 6号 ***					
S62031	【機械ボーリング (地質調査用)】					
	【機械ボーリング (地質調査用)】					
	土質ボーリング (ﾎﾙﾃﾞｭ), 66,礫混じり土砂,,50m以下,鉛直下方		m	34,700		歩A・単A
	*** S単 - 7号 ***					
S62031	【機械ボーリング (地質調査用)】					
	【機械ボーリング (地質調査用)】					
	土質ボーリング (ﾎﾙﾃﾞｭ), 86,粘性土・シルト,,50m以下,鉛直下方		m	15,200		歩A・単A
	*** S単 - 8号 ***					
S62031	【機械ボーリング (地質調査用)】					
	【機械ボーリング (地質調査用)】					
	土質ボーリング (ﾎﾙﾃﾞｭ), 86,礫混じり土砂,,50m以下,鉛直下方		m	35,000		歩A・単A
	*** S単 - 9号 ***					
S62032	【サンプリング】					
	【サンプリング】					
	ｼﾝｸﾞﾙ ﾎﾙﾃﾞｭ ﾘﾝｸﾞ		本	27,300		歩A・単A
	*** S単 - 10号 ***					
S62033	【サウンディング及び原位置試験】					
	【サウンディング及び原位置試験】					
	標準貫入試験,粘性土・シルト,		回	7,980		歩A・単A
	*** S単 - 11号 ***					
S62033	標準貫入試験 (基盤面確認用、各地点3回)					
	【サウンディング及び原位置試験】					
	標準貫入試験,礫混じり土砂,		回	14,900		歩A・単A
	*** S単 - 12号 ***					
S62033	【サウンディング及び原位置試験】					
	【サウンディング及び原位置試験】					
	現場透水試験,ケーシング法,GL-20m以内		回	102,630		歩A・単A
	*** S単 - 13号 ***					
S62036	【足場仮設】					
	【足場仮設】					
	平坦地足場,高さ0.3m以下,50m以下		箇所	64,300		歩A・単A
	*** S単 - 14号 ***					
S62037	【準備及び跡片付け】					
	【準備及び跡片付け】		業務	277,000		歩A・単A
	*** S単 - 15号 ***					
S62039	調査孔閉塞 (ノンコアボーリング孔)					
	【その他間接調査費】					
	0箇所,4箇所,0箇所		業務	29,560		歩A・単A
	*** S単 - 16号 ***					
S62040	【資料整理とりまとめ (一般調査業務費)】					
	【資料整理とりまとめ (一般調査業務費)】					
	10,0		業務	112,984		歩A・単A
	*** S単 - 17号 ***					
S62041	【断面図等の作成 (一般調査業務費)】					
	【断面図等の作成 (一般調査業務費)】					
	10,0		業務	112,984		歩A・単A
	*** S単 - 18号 ***					
S62047	【地盤情報検定費】					
	【地盤情報検定費】					
	A検定		本	2,000		歩A・単A
	*** X単 - 1号 ***					
X63006	旅費交通費 (調査外業日帰用)					
	旅費交通費 (調査外業日帰用)					
	ライトバン,49日,2時間		式	166,228		歩A・単A
	*** T単 - 1号 ***					
T00100	移動日基準日額 (日帰)					
			式	836,740		歩A・単A

事業名	直轄災害復旧事業
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務

業務別業務名: 調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02115	地質調査技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	地質調査技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04041 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04041	地質調査技師	1.000	人	53,200	53,200	
	合 計				53,200	算出数量 1.000 人
	単 価				53,200	
	*** S単 - 2号 ***					
S02115	主任地質調査員		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任地質調査員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04042 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04042	主任地質調査員	1.000	人	41,500	41,500	
	合 計				41,500	算出数量 1.000 人
	単 価				41,500	
	*** S単 - 3号 ***					
S02115	地質調査員		人		1,000	歩A 当たり算出
	地質調査員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04043 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04043	地質調査員	1.000	人	31,400	31,400	
	合 計				31,400	算出数量 1.000 人
	単 価				31,400	
	*** S単 - 4号 ***					
S13011	保孔管挿入工 (D-ｸﾚｰﾝ式)		m		10,000	歩A 当たり算出
	保孔管挿入工 (D-ｸﾚｰﾝ式) 地表			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	地表		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
P05111	硬質ポリ塩化ビニル有孔管(VP) TS片スリーブ 径 40 長4.0m	2.580	本	1,860	4,799	
R01001	土木一般世話役	0.060	人	28,400	1,704	
R01002	特殊作業員	0.060	人	24,100	1,446	
R01003	普通作業員	0.100	人	20,300	2,030	
	合 計				9,979	算出数量 10.000 m
	単 価		m		998	
	*** S単 - 5号 ***					
S62031	【機械ボーリング (地質調査用)】		m		1,000	歩A 当たり算出
	【機械ボーリング (地質調査用)】 土質ボーリング (オルコア) 66,粘性土・シルト,,50m以下,鉛直下方			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)孔径区分	土質ボーリング (オルコア) 66		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	直轄災害復旧事業
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務

業務別業務名: 調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)土質区分 5)せん孔深度 6)せん孔方向	粘性土・シルト 50m以下 鉛直下方		深夜時間:0.0		
A30086	土質ボーリング(オルコア・リグ 深度50m以下) 66mm 粘性土・シルト 鉛直下方	1.000	m	14,700	14,700	
	合 計				14,700	算出数量 1.000 m
	単 価		m		14,700	
R04041	地質調査技師 外業	0.080	人	53,200	4,256	
R04042	主任地質調査員 外業	0.170	人	41,500	7,055	
R04043	地質調査員 外業	0.170	人	31,400	5,338	
	*** S単 - 6号 ***					
S62031	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オルコア), 66,礫混じり土砂,,50m以下,鉛直下方			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)孔径区分	土質ボーリング(オルコア) 66		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)土質区分 5)せん孔深度 6)せん孔方向	礫混じり土砂 50m以下 鉛直下方		深夜時間:0.0		
A30088	土質ボーリング(オルコア・リグ 深度50m以下) 66mm 礫混じり土砂 鉛直下方	1.000	m	34,700	34,700	
	合 計				34,700	算出数量 1.000 m
	単 価		m		34,700	
R04041	地質調査技師 外業	0.150	人	53,200	7,980	
R04042	主任地質調査員 外業	0.290	人	41,500	12,035	
R04043	地質調査員 外業	0.290	人	31,400	9,106	
	*** S単 - 7号 ***					
S62031	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(ノコア), 86,粘性土・シルト,,50m以下,鉛直下方			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)孔径区分	土質ボーリング(ノコア) 86		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)土質区分 5)せん孔深度 6)せん孔方向	粘性土・シルト 50m以下 鉛直下方		深夜時間:0.0		
A30006	土質ボーリング(ノコア・リグ 深度50m以下) 86mm 粘性土・シルト 鉛直下方	1.000	m	15,200	15,200	
	合 計				15,200	算出数量 1.000 m
	単 価		m		15,200	
R04041	地質調査技師 外業	0.080	人	53,200	4,256	
R04042	主任地質調査員 外業	0.170	人	41,500	7,055	
R04043	地質調査員 外業	0.170	人	31,400	5,338	
	*** S単 - 8号 ***					
S62031	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(ノコア), 86,礫混じり土砂,,50m以下,鉛直下方			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)孔径区分	土質ボーリング(ノコア) 86		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)土質区分 5)せん孔深度 6)せん孔方向	礫混じり土砂 50m以下 鉛直下方		深夜時間:0.0		
A30008	土質ボーリング(ノコア・リグ 深度50m以下) 86mm 礫混じり土砂 鉛直下方	1.000	m	35,000	35,000	
	合 計				35,000	算出数量 1.000 m

事業名	直轄災害復旧事業
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務

業務別業務名: 調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m		35,000	
R04041	地質調査技師 外業	0.170	人	53,200	9,044	
R04042	主任地質調査員 外業	0.330	人	41,500	13,695	
R04043	地質調査員 外業	0.330	人	31,400	10,362	
	*** S単 - 9号 ***					
S62032	【サンプリング】		本		1,000 本	歩A 当たり算出
	【サンプリング】 シンウォールサンプリング			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 施工区分	シンウォールサンプリング		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
A30041	シンウォールサンプリング 粘性土	1.000	本	27,300	27,300	
	合 計				27,300	算出数量 1.000 本
	単 価		本		27,300	
R04041	地質調査技師 外業	0.100	人	53,200	5,320	
R04042	主任地質調査員 外業	0.200	人	41,500	8,300	
R04043	地質調査員 外業	0.200	人	31,400	6,280	
	*** S単 - 10号 ***					
S62033	【サウンディング及び原位置試験】		回		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 粘性土・シルト,			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 施工区分	標準貫入試験		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 規格区分	粘性土・シルト		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
A30051	標準貫入試験 粘性土・シルト	1.000	回	7,980	7,980	
	合 計				7,980	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		7,980	
R04041	地質調査技師 外業	0.040	人	53,200	2,128	
R04042	主任地質調査員 外業	0.080	人	41,500	3,320	
R04043	地質調査員 外業	0.080	人	31,400	2,512	
	*** S単 - 11号 ***					
S62033	標準貫入試験 (基礎面確認用、各地点 3 回)		回		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 礫混じり土砂,			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 施工区分	標準貫入試験		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 規格区分	礫混じり土砂		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
A30053	標準貫入試験 礫混じり土砂	1.000	回	14,900	14,900	
	合 計				14,900	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		14,900	
R04041	地質調査技師 外業	0.060	人	53,200	3,192	
R04042	主任地質調査員 外業	0.130	人	41,500	5,395	
R04043	地質調査員 外業	0.130	人	31,400	4,082	
	*** S単 - 12号 ***					
S62033	【サウンディング及び原位置試験】		回		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出

事業名	直轄災害復旧事業					
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務					
業務別業務名:調査業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	【サウンディング及び原位置試験】 現場透水試験,ケーシング法,GL-20m以内			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	現場透水試験		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	ケーシング法		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)適用基準	GL-20m以内		深夜時間:0.0		
A30072	現場透水試験 ケーシング法 GL-10m以内	1.100	回	93,300	102,630	
	合 計				102,630	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		102,630	
R04041	地質調査技師 外業	0.250	人	53,200	13,300	
R04042	主任地質調査員 外業	0.500	人	41,500	20,750	
R04043	地質調査員 外業	0.500	人	31,400	15,700	
	*** S単 - 13号 ***					
S62036	【足場仮設】		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	【足場仮設】 平坦地足場,高さ0.3m以下,50m以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	平坦地足場		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格	高さ0.3m以下		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)深度区分	50m以下		深夜時間:0.0		
A30130	平坦地足場 板材足場(0 . 3 m以下)	1.000	箇所	64,300	64,300	
	合 計				64,300	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		64,300	
R04042	主任地質調査員 外業	0.250	人	41,500	10,375	
R04043	地質調査員 外業	0.500	人	31,400	15,700	
	*** S単 - 14号 ***					
S62037	【準備及び跡片付け】		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	【準備及び跡片付け】			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)準備及び跡片付け	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30141	準備及び跡片付け	1.000	業務	277,000	277,000	
	合 計				277,000	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		277,000	
R04041	地質調査技師 外業	1.000	人	53,200	53,200	
R04042	主任地質調査員 外業	1.000	人	41,500	41,500	
R04043	地質調査員 外業	0.500	人	31,400	15,700	
	*** S単 - 15号 ***					
S62039	調査孔閉塞(ノンコアボーリング孔)		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	【その他間接調査費】 0箇所,4箇所,0箇所			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)環境保全	0箇所		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)調査孔閉塞	4箇所		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)給水費	0箇所		深夜時間:0.0		
A30143	環境保全 仮囲い	0.000	箇所	57,600	0	
A30144	調査孔閉塞	4.000	箇所	7,390	29,560	
A30146	給水費(ポンプ運転) 20m以上150m以下	0.000	箇所	22,000	0	
	合 計				29,560	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		29,560	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:調査業務(解析)

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務
-----	------------------

業務別業務名:測量業務

九州農政局

[illegible]

業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務
-----	------------------

業務別業務名:測量業務

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	直轄災害復旧事業					
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務					
業務別業務名:測量業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02115	測量技師		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	測量技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04023 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04023	測量技師	1.000	人	47,100	47,100	
	合 計				47,100	算出数量 1,000 人
	単 価				47,100	
	*** S単 - 2号 ***					
S02115	測量技師補		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	測量技師補			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04024 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04024	測量技師補	1.000	人	36,900	36,900	
	合 計				36,900	算出数量 1,000 人
	単 価				36,900	
	*** S単 - 3号 ***					
S02115	測量助手		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	測量助手			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04025 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04025	測量助手	1.000	人	34,600	34,600	
	合 計				34,600	算出数量 1,000 人
	単 価				34,600	
	*** S単 - 4号 ***					
S02116	高速道路料金		往復		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	高速道路料金 御船ICから八代IC、平日朝夕割引（5回以上利用）,, 1)資材区分 2)地域資材単価コード（P） 3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）	地域資材（Pコード） P96200		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
P96200	高速道路料金 御船ICから八代IC、平日朝夕割引（5回以上利用）	1.000	往復	1,260	1,260	
	合 計				1,260	算出数量 1,000 各単位
	単 価				1,260	
	*** S単 - 5号 ***					
S61014	路線測量 作業計画		業務		1,000 業務	歩A 当たり算出
	路線測量 作業計画			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業条件補正值	0.00		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04022	測量主任技師 内業	0.600	人	54,600	32,760	
R04023	測量技師 内業	0.900	人	47,100	42,390	

事業名		直轄災害復旧事業				
業務名		不知火幹線水路復旧実施設計他業務				
業務別業務名:測量業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04024	測量技師補 内業	0.600	人	36,900	22,140	
	合 計				97,290	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		97,290	
	*** S単 - 6号 ***					
S61015	路線測量 現地踏査		km		1.000 km	歩A 当たり算出
	路線測量 現地踏査 平地,耕地,0.00,1,000台未満/12時間,0.00			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地形区分 2)地物区分	平地 耕地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)特殊地形の補正值 4)現場条件	0.00 1,000台未満/12時間		深夜時間:0.0		
	5)特殊交通条件による補正值	0.00				
R04023	測量技師 外業	1.600	人	47,100	75,360	
R04024	測量技師補 外業	1.400	人	36,900	51,660	
Y00004	機械経費 2.0%	0.020		127,020	2,540	
Y00004	材料費 7.0%	0.070		127,020	8,891	
	合 計				138,451	算出数量 1.000 km
	単 価		km		138,451	
	*** S単 - 7号 ***					
S61016	路線測量 線形決定		km		1.000 km	歩A 当たり算出
	路線測量 線形決定 平地,耕地,0.00			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地形区分 2)地物区分 3)特殊地形の補正值	平地 耕地 0.00		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04022	測量主任技師 内業	0.400	人	54,600	21,840	
R04023	測量技師 内業	2.600	人	47,100	122,460	
R04024	測量技師補 内業	2.100	人	36,900	77,490	
Y00004	機械経費 1.0%	0.010		221,790	2,218	
Y00004	材料費 2.5%	0.025		221,790	5,545	
	合 計				229,553	算出数量 1.000 km
	単 価		km		229,553	
Y70001	精度管理費	0.100		224,008	22,401	
	*** S単 - 8号 ***					
S61017	路線測量 IP設置測量		km		1.000 km	歩A 当たり算出
	路線測量 IP設置測量 計上する,平地,耕地,0.00,1,000台未満/12時間,0.00,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)IP設置計算の有無 2)地形区分 3)地物区分 4)特殊地形の補正值	計上する 平地 耕地 0.00		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)現場条件 6)特殊交通条件による補正值 7)単曲線数区分	1,000台未満/12時間 0.00 0				
R04023	測量技師 内業	1.200	人	47,100	56,520	
R04023	測量技師 外業	1.400	人	47,100	65,940	
R04024	測量技師補 内業	1.000	人	36,900	36,900	
R04024	測量技師補 外業	1.400	人	36,900	51,660	
R04025	測量助手 外業	1.000	人	34,600	34,600	

事業名	直轄災害復旧事業					
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務					
業務別業務名:測量業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
Y00004	機械経費					
	3.5%	0.035		245,620	8,597	
Y00004	材料費					
	3.0%	0.030		245,620	7,369	
	合 計				261,586	算出数量 1.000 km
	単 価		km		235,427	
Y70001	精度管理費					
		0.100		254,217	25,422	
	*** S単 - 9号 ***					
S61018	路線測量 中心線測量		km		1.000 km	歩 A 当たり算出
	路線測量 中心線測量 平地,耕地,0.00,50m,1,000台未満/12時間,0.00,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地形区分	平地		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地物区分	耕地		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)特殊地形の補正值	0.00		深夜時間:0.0		
	4)測点間隔	50m				
	5)現場条件	1,000台未満/12時間				
	6)特殊交通条件による補正值	0.00				
	7)単曲線数区分	0				
R04023	測量技師 外業	2.500	人	47,100	117,750	
R04023	測量技師 内業	1.800	人	47,100	84,780	
R04024	測量技師補 外業	2.800	人	36,900	103,320	
R04024	測量技師補 内業	1.800	人	36,900	66,420	
R04025	測量助手 外業	2.200	人	34,600	76,120	
Y00004	機械経費					
	4.0%	0.040		448,390	17,936	
Y00004	材料費					
	6.0%	0.060		448,390	26,903	
	合 計				493,229	算出数量 1.000 km
	単 価		km		295,937	
Y70001	精度管理費					
		0.100		466,326	46,633	
	*** S単 - 10号 ***					
S61019	路線測量 縦断測量		km		1.000 km	歩 A 当たり算出
	路線測量 縦断測量 平地,耕地,0.00,1,000台未満/12時間,0.00			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地形区分	平地		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地物区分	耕地		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)特殊地形の補正值	0.00		深夜時間:0.0		
	4)現場条件	1,000台未満/12時間				
	5)特殊交通条件による補正值	0.00				
R04023	測量技師 外業	1.600	人	47,100	75,360	
R04023	測量技師 内業	1.300	人	47,100	61,230	
R04024	測量技師補 外業	1.800	人	36,900	66,420	
R04024	測量技師補 内業	1.100	人	36,900	40,590	
R04025	測量助手 外業	1.400	人	34,600	48,440	
R04025	測量助手 内業	0.500	人	34,600	17,300	
Y00004	機械経費					
	2.5%	0.025		309,340	7,734	
Y00004	材料費					
	3.0%	0.030		309,340	9,280	
	合 計				326,354	算出数量 1.000 km
	単 価		km		326,354	
Y70001	精度管理費					
		0.100		317,074	31,707	
	*** S単 - 11号 ***					

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:設計業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	直轄災害復旧事業
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02115	主任技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
	合 計				64,800	算出数量 1.000 人
	単 価				64,800	
	*** S単 - 2号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1.000 人
	単 価				57,000	
	*** S単 - 3号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				47,200	算出数量 1.000 人
	単 価				47,200	
	*** S単 - 4号 ***					
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				33,600	算出数量 1.000 人
	単 価				33,600	
	*** S単 - 5号 ***					
S02116	高速道路料金		往復		1,000	歩A 当たり算出
	高速道路料金 御船ICから八代IC,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード (P)	地域資材 (Pコード) P96100		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J) 4)施設機械資材単価コード (K)			深夜時間:0.0		
P96100	高速道路料金 御船ICから八代IC	1.000	往復	1,800	1,800	
	合 計				1,800	算出数量 1.000 各単位

事業名	直轄災害復旧事業
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				1,800	
	*** S単 - 6号 ***					
S60012	実施設計 用水路(開水路)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	実施設計 用水路(開水路)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	難易度補正 ,547m,しない,する,2 Q<10m3/s			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計内容	難易度補正		深夜時間:0.0		
	2)設計対象延長	547m				
	3)複合設計区分	しない				
	4)既製品使用区分	する				
	5)流量区分	2 Q<10m3/s				
	6)1.現地調査	計上する				
	7)2.資料の検討	計上する				
	8)3-1.設計計画基本条件の検討	計上する				
	9)3-2.設計計画水路タイプ・断面の検討	計上する				
	10)4-1.水理検討水理計算	計上する				
	11)4-2.水理検討水理縦断面作成	計上する				
	12)5.構造計算	計上する				
	13)6.構造図作成	計上する				
	14)7.平面縦断面図作成	計上する				
	15)8.土工図作成	計上する				
	16)9.数量計算	計上する				
	17)10.施工計画	計上する				
	18)11.特別仕様書作成	計上しない				
	19)12.概算工事費積算	計上しない				
	20)13.総合検討	計上する				
	21)14.照査	計上する				
	22)15.点検取りまとめ	計上する				
	23)1個別補正現地調査	1.00				
	24)2個別補正資料の検討	1.00				
	25)3-1個別補正基本条件の検討	1.00				
	26)3-2個別補正タイプ・断面形状検討	1.00				
	27)4-1個別補正水理計算	1.00				
	28)4-2個別補正水理縦断面図作成	1.00				
	29)5個別補正構造計算	1.00				
	30)6個別補正構造図作成	1.00				
	31)7個別補正平面縦断面図作成	1.00				
	32)8個別補正土工図作成	1.00				
	33)9個別補正数量計算	1.00				
	34)10個別補正施工計画	1.00				
	35)11個別補正特別仕様書作成	1.00				
	36)12個別補正概算工事費積算	1.00				
	37)13個別補正総合検討	1.00				
	38)14個別補正照査	1.00				
	39)15個別補正点検取りまとめ	1.00				
R04003	主任技師 内業	8.530	人	64,800	552,744	
R04004	技師(A) 内業	10.530	人	57,000	600,210	
R04005	技師(B) 内業	11.980	人	47,200	565,456	
R04006	技師(C) 内業	9.940	人	38,400	381,696	
R04007	技術員 内業	12.990	人	33,600	436,464	
	合 計				2,536,570	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,536,570	
	*** S単 - 7号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師	0.700	人	64,800	45,360	
R04004	技師(A)	0.700	人	57,000	39,900	

事業名	直轄災害復旧事業					
業務名	不知火幹線水路復旧実施設計他業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				85,260	算出数量 1.000 回
	単 価		回		85,260	
	*** S単 - 8号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04004	技師（A）					
		0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師（B）					
		0.500	人	47,200	23,600	
	合 計				52,100	算出数量 1.000 回
	単 価		回		52,100	
	*** S単 - 9号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,2時間, L < 100km (100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.20日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金（税別）	0円				
	14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	15)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	16)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	17)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	2時間				
	20)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		1.000	日	1,650	1,650
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド		5.400	L	156	842
	合 計				2,492	算出数量 1.000 回
	単 価			回	2,492	
	*** S単 - 10号 ***					
S63018	旅費交通費（現地調査）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業日帰用） ライトバン,1日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)高速道路往復料金（税別）	0円		深夜時間:0.0		
	3)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	4)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	5)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	6)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	1日				
	8)時間区分	2時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	0.000日				
	11)設計用技師A外業日数	0.000日				
	12)設計用技師B外業日数	0.000日				
	13)設計用技師C外業日数	0.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				

事業名		直轄災害復旧事業				
業務名		不知火幹線水路復旧実施設計他業務				
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
M28121	イトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン J I S 2 号 レギュラースタンド	5.400	L	156	842	
	合 計				2,492	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,492	
	*** S単 - 11号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 1000, 10cm, 0			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 報告書部数(部)	1.000		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 規格区分	A - 4		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 枚数区分(枚)	1000		深夜時間: 0.0		
	4) 厚さ区分	10cm				
	5) CD-R枚数(枚)	0.000				
P43504	報告書焼付代(コピー) A - 4 以下 1 0 0 0 枚	1.000	部	12,700	12,700	
P43544	簡易加除式ファイル A 4 縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	789	789	
P43602	C D - R C D - R (記録面色素フタロシアニン) 7 0 0 MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				13,489	算出数量 1.000 式
	単 価		式		13,489	
	*** S単 - 12号 ***					
S64001	積算参考資料作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	積算参考資料作成 開水路、パイプライン、農道(道路)等, なし, 一括発注			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 対象工種	開水路、パイプライン、農道(道路)等		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 同一工種補正	なし		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 現地調査件数	0件		深夜時間: 0.0		
	4) 設計関係資料把握件数	0件				
	5) 設計図修正枚数	25枚				
	6) 数量計算書修正頁数	25				
	7) 施工計画書作成件数	1件				
	8) 特別仕様書作成件数	1件				
	9) 積算資料施工単価条件資料作成頁数	50				
	10) 特別単価作成単価数	25				
	11) 標準積算システム入力件数	1件				
	12) 点検取りまとめ件数	1件				
	13) 契約区分	一括発注				
	14) 1. 現地調査	計上しない				
	15) 2-a. 設計関係資料把握(報告書)	計上しない				
	16) 2-b. 設計関係資料把握(設計図)	計上しない				
	17) 2-c. 設計関係資料把握(数量計算書)	計上しない				
	18) 3. 設計図作成	計上する				
	19) 4. 数量計算書作成	計上する				
	20) 5. 施工計画書作成	計上する				
	21) 6. 特別仕様書作成	計上しない				
	22) 7. 積算資料・施工単価条件資料作成	計上する				
	23) 8. 特別単価作成	計上する				
	24) 9. 標準積算システム入力	計上する				
	25) 10. 点検取りまとめ	計上する				
	26) 1個別補正現地調査	1.00				
	27) 2-a個別補正設計関係資料報告書	1.00				
	28) 2-b個別補正設計関係資料設計図	1.00				
	29) 2-c個別補正設計資料数量計算書	1.00				
	30) 3個別補正設計図作成	1.00				
	31) 4個別補正数量計算書作成	1.00				
	32) 5個別補正施工計画書作成	1.00				
	33) 6個別補正特別仕様書作成	1.00				
	34) 7個別補正積算資料・施工単価作成	1.00				
	35) 8個別補正特別単価作成	1.00				
	36) 9個別補正標準積算システム入力	1.00				
	37) 10個別補正点検取りまとめ	1.00				
R04004	技師(A) 内業	3.280	人	57,000	186,960	
R04005	技師(B) 内業	7.350	人	47,200	346,920	
R04006	技師(C) 内業	13.730	人	38,400	527,232	
R04007	技術員 内業	10.200	人	33,600	342,720	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

令和 6 年度 直轄災害復旧事業
不知火幹線水路復旧実施設計他業務

特別仕様書

九州農政局八代平野農業水利事業所

第1章 総 則

第1－1条（適用範囲）

令和6年度直轄災害復旧事業不知火幹線水路復旧実施設計他業務の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「地質・土質調査業務共通仕様書」（以下「調査共通仕様書」という。）及び「測量業務共通仕様書」（以下「測量共通仕様書」という。）並びに「設計業務共通仕様書」（以下「設計共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1－2条（目的）

本業務は、令和6年梅雨前線豪雨により国営八代平野土地改良事業で整備した不知火幹線水路が被災したことから、復旧工事に向けた実施設計等を行うものである。

第1－3条（場所）

本業務の対象地域は、熊本県八代市東片町地内である。

第1－4条（土地への立ち入り等）

作業実施のための土地の立ち入り等は、調査共通仕様書第1－15条、測量共通仕様書第16条及び設計共通仕様書第1－16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。なお、現地立入りに当たっては、監督職員と連絡を取った後、作業に着手するものとする。

第1－5条（一般事項）

業務請負契約書、調査共通仕様書等に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- （1）受注者は、作業実施の順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- （2）作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- （3）受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は、速やかにこれに応じるものとする。

第1－6条（低入札価格契約における第三者照査）

1. 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「設計共通仕様書第1－7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において設計共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下「第三者照査」という。）を実施しなければならない。
2. 第三者照査の企業に要求される資格
 - （1）予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
 - （2）九州農政局において、測量・建設コンサルタント等契約に係る令和5・6年度の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。
 - （3）九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
 - （4）調査共通仕様書第1－31条及び設計共通仕様書第1－30条守秘義務を遵守できるもので

あること。

- (5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

1) 資本関係

- ①親会社と子会社の関係にある
- ②親会社を同じくする子会社同士の関係にある

2) 人的関係

- ①一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

3. 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

- (1) 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- (2) 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4. 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5. 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6. 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

第4-1条に示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7. 第三者照査の照査技術者のAGRIS登録

調査共通仕様書第1-11条及び設計共通仕様書第1-12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（以下「AGRIS」という。）の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8. 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第41条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

第1-7条（履行確実性評価の達成状況の確認）

本業務の受注に当たり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- 1. 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- 2. 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- 3. その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異

なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合

4. 業務成果品のミス、不備 等

第 1－8 条（管理技術者）

管理技術者は、設計共通仕様書第 1－6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
博士	農 学	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

2. 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日ごとに業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

第 1－9 条（照査技術者）

- (1) 照査技術者は、設計共通仕様書第 1－7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
博士	農 学	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

- (2) 本業務における照査は、「設計業務照査の手引書（案）」（以下「照査手引書」という。）に基づき実施する。

また、照査手引書に基づく照査により作成した資料は、設計共通仕様書第 1－7 条第 5 項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

- (3) 設計共通仕様書第 1－7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- 1) 業務計画作成時
- 2) 設計計画段階
- 3) 施工計画・仮設計画段階
- 4) 報告書原稿作成段階
- 5) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

- (4) 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第 1－10 条（担当技術者）

- (1) 担当技術者は、設計共通仕様書第 1－8 条によるものとする。

- (2) 担当技術者は、地質・土質調査業務を併せて行う場合に当たっては、地質・土質調査部門の担当技術者を含むものとする。

第 1-11 条（配置技術者の確認）

調査共通仕様書第 1-10 条、測量共通仕様書第 11 条及び設計共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成、調査共通仕様書第 1-11 条、測量共通仕様書第 12 条及び設計共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

- (2) AGRIS への技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承諾を得るものとする。

第 1-12 条（保険加入）

受注者は、調査共通仕様書第 1-38 条、測量共通仕様書第 38 条及び設計共通仕様書第 1-37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 1-13 条（技術員等の配置）

本業務は、現場技術業務の実施要領等について（平成 14 年 2 月 6 日付け 13 農振第 2788 号農林水産省農村振興局長通知）別紙 現場技術業務実施要領に基づく業務において調整等の対象とする業務である。

配置する技術員等氏名等については、別に通知する。

第 2 章 作業条件

第 2-1 条（適用する図書）

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書を優先し、設計時点の最新のものをを用いることとする。設計作業中に改訂された場合や他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名称	発行所
1	土地改良事業計画設計基準 設計 水路工	(公社)農業農村工学会

第 2-2 条（現地作業条件）

本業務の実施に当たっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施に当たっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する者と十分打ち合わせを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する場合は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 作業上支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議する。

第 2-3 条（設計条件）

設計作業における設計条件は、次のとおりである。

【設計基本条件】

(1) 不知火幹線水路

かんがい面積	A= 2,247ha
施設容量	Q= 6.489 m ³ /s
設計延長	L= 625.84m
水路幅	B= 3.65m
水路高	H= 2.65m (左岸側)、2.15m (右岸側)
現況水路構造	コンクリート直壁型水路
水路勾配	i= 1/5,000

(2) 麓川排水路

計画排水量	Q= 4.047 m ³ /s (設計区間内最大流量、3号横断排水暗渠地点)
水路幅 (現況)	3.97m~5.77m (国営八代平野土地改良事業計画参考資料より)
現況水路構造	2面コンクリート護岸水路
排水路勾配	i= 1/5,000

第2-4条 (測量作業条件)

本測量の基準となる既知点は、次表及び別添図面に示すとおりである。

なお、既知点の詳細は、第2-5条の貸与資料の測量成果等を使用するものとする。

第2-5条 (貸与資料)

貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸与資料	数量
1	国営八代平野土地改良事業計画書 (案) 及び計画参考資料	1 式
2	平成 27 年度地区調査 八代平野地区用水施設機能診断業務 報告書	1 部
3	平成 30 年度農整委 第 9 号 麓川測量成果図データ変換業務委託 報告書	1 部
4	平成 30 年度八代平野農業水利事業 不知火幹線水路実施設計業務 報告書	1 部
5	令和 6 年度八代平野農業水利事業 不知火幹線水路応急対策検討業務 報告書	1 部
6	令和 6 年度八代平野農業水利事業 不知火幹線水路仮設計画検討業務 報告書	1 部
7	令和 6 年度八代平野農業水利事業 不知火幹線水路仮設計画検討その 2 業務 報告書	1 部
8	令和 6 年度八代平野農業水利事業 不知火幹線水路変位量測定取りまとめ業務報告書	1 部

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

第2-6条 (貸与資料及び参考図書の取扱い)

第2-5条に示す貸与資料及び設計共通仕様書第2-1条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 貸与資料及び参考図書の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用いることとし、設計作業中に改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

第 3－1 条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は以下に示すものとする。

なお、詳細は別紙「作業項目内訳表」のとおりである。

作業項目	数量	備考
I. 設計作業 （開水路実施設計及び積算参考資料作成）		
不知火幹線水路	L=547.57m	
II. 測量作業		
（1）路線測量 作業計画	1 式	
（2） " 現地踏査	L=0.55km	
（3） " 線形決定	L=0.55km	
（4） " I P 設置測量	L=0.55km	
（5） " 中心線測量	L=0.55km	
（6） " 縦断測量	L=0.55km	
（7） " 横断測量	L=0.55km	測量幅：中心線より 10m （両側）、曲線数：0
III. 調査作業		
（1）土質ボーリング（オールコア）	69m	φ 66、6 孔
（2）土質ボーリング（ノンコア）	44m	φ 86、4 孔
（3）シンウォールサンプリング	4 本	
（4）標準貫入試験	69 回	
（5）現場透水試験	2 回	
（6）土粒子の密度試験	6 試料	
（7）土の含水比試験	6 試料	
（8）土の粒度試験	6 試料	
（9）土の締固め試験	6 試料	
（10）三軸圧縮試験（UU）	4 試料	
（11）資料整理取りまとめ	1 業務	
（12）断面図等の作成	1 業務	
（13）総合解析取りまとめ	1 業務	

第 3－2 条（調査作業の留意点）

作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

（1）ボーリング調査

調査方法は調査共通仕様書第 3－3 条に基づくものとする。

（2）現場透水試験

現場透水試験は、別添「全体平面図」に示す調査孔において実施するものとする。

試験方法は、調査共通仕様書第 4－4 条に基づくものとする。

なお、詳細については、監督職員と打合せの上決定するものとする。

（3）総合解析取りまとめ

調査地周辺の地形・地質の検討に当たっては、地下水流動方向に留意して行うものとする。

（4）ボーリング成果

調査共通仕様書第 1－17 条に基づき、地盤情報を「一般財団法人国土地盤情報センター」

の検定を受けたうえで、「国土地盤情報データベース」に登録しなければならない。

なお、検定の申込みに当たり、地盤情報の公開・利用の可否について、発注者と協議を行うこととする。

(5) 土質試験

採取した試料の土質試験は、特に定めがない限り、調査共通仕様書第 11－1 条によるものとするが、詳細については、地盤材料試験法及び監督職員の指示によるものとする。

第 3－3 条（測量作業の留意点）

測量作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 測量作業における測量作業規程第 22 条及び第 49 条に規定する方式の選択については、事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 測量成果の検定については、測量作業規程第 14 条を適用する。
- (3) 線形決定
 - ① 計画路線の始点及び終点は、監督職員が現地で指示するものとする。
 - ② 線形は、地形図（1/500）上に路線選定で検討した資料を基に記入し、監督職員と協議の上決定するものとする。
 - ③ 決定した線形について、曲線要素、条件とすべき点を勘案し、線形計算を行うものとする。
- (4) I P 設置測量
 - ① I P の設置に当たっては、事前に監督職員の承諾を得るものとする。
 - ② I P 点には引照点を、仮水準点には保護杭を設けるものとする。
 - ③ 杭打ちが不可能な所では、固定物に打鉋等を行い示すことができるが、この場合には固定物の近くに杭を打設し、名称などを付記して目視確認が十分できるものとする。
- (5) 中心線測量
 - ① 中心杭の間隔は原則として 50m 間隔とし、地形の変化点など必要に応じて追加点を設置するものとする。
 - ② 杭打ちが不可能な所では、固定物に打鉋等を行い示すことができるが、この場合には固定物の近くに杭を打設し、名称などを付記して目視確認が十分できるものとする。
- (6) 縦断測量

縦断図の縮尺は、縦 $S=1/100$ 、横 $S=1/500$ とする。
- (7) 横断測量
 - ① 横断測量の測点間隔は原則として 50m とし、地形の変化点など必要に応じて追加点を設置するものとする。
 - ② 中心杭の間隔が著しく短く、かつ横断計上の変化の少ない場合は、監督職員の承諾を得て、その中心杭地点の横断測量を省略できるものとする。
 - ③ 横断図の縮尺は、 $S=1/100$ とする。

第 3－4 条（設計作業の留意点）

作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 設計に当たっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに、維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (2) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (3) 共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出

典を明示するものとする。

(4) 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。

(5) 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。

なお、コスト縮減に関する新技術や新工法等の選定に当たっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。

- ・ 農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）は、
https://www.nn-techinfo.jp/mdb_web/MdbTop.do を参照。

- ・ 新技術情報システム（NETIS）は、
<https://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照。

(6) 数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。

なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

- ・ 「工事工種の体系化」は、
https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/を参照。

第3－5条（業務の成果品質確保対策）

契約後業務着手時並びに最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項並びに「業務の成果品質確保対策」（農水省WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

（1）業務確認会議

業務着手時に、管理技術者・担当技術者並びに事業所長、担当課長、主任監督員（主催）、監督員、工事担当者が、設計方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

ア 業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については、変更する場合がある。

（ア）設計条件・前提条件、（イ）業務計画の妥当性、（ウ）スケジュール

（エ）設計変更内容、（オ）その他（事業間連携等）

イ 会議の開催については、監督員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

（2）合同現地踏査

管理技術者・担当技術者並びに事業所長、担当課長、主任監督員（主催）、監督員、工事担当者が、必要に応じて合同で現地踏査を行うことにより、設計条件や施工の留意点、関連事業の情報、設計方針の明確化等、情報共有を図る。

（3）照査の確実な実施

業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

また、最終打合せ時以外であっても、必要に応じて照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

（4）工事円滑化会議及び設計変更確認会議への出席要請

当該業務成果による工事発注の際に、別途工事の受発注者が当該工事に関する「工事の施工効率向上対策」（農水省WEBサイト）による工事円滑化会議及び設計変更確認会議を開催することとしており、同会議に出席要請があった場合には応じるものとする。

なお、出席に必要な経費については、別途契約により対応することとする。

（５）打合せ記録簿

業務確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

第３－６条（業務写真における黑板情報の電子化）

黑板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黑板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黑板情報の電子化を行うことができる。黑板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黑板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

ア 黑板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黑板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黑板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、（１）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黑板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記（１）に示す黑板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）６ 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黑板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黑板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黑板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黑板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黑板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第４章 打合せ

第４－１条（打合せ）

設計共通仕様書第１－１０条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第 2 回 中間打合せ（設計計画段階）

第 3 回 中間打合せ（地質調査完了段階）

第 4 回 中間打合せ（施工計画・仮設計画段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、設計共通仕様書第 1－11 条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第 5 章 成果物

第 5－1 条（成果物）

成果物を設計共通仕様書第 1－17 条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

（1）成果物の電子媒体（CD-R 等） 正副 2 部

（2）成果物の出力 1 部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については、別途監督職員の指示によるものとする。

（3）ボーリングコア（標本箱入り） 1 式

第 5－2 条（開示用成果物の作成及び提出）

第 5－1 条に記載している成果物(PDF ファイル)に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 11 年法律第 42 号）における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

なお、「不開示情報」とは、別表のとおりである。

（1）開示用成果物の電子媒体(CD-R 等) 1 部

第 5－3 条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県八代市日置町 1 7 1－1

九州農政局八代平野農業水利事業所

第 6 章 業務管理

第 6－1 条（情報共有システム）

（1）本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。

（2）情報共有システムは、「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（農林水産省 Web サイト参照）によるものとする。

（3）受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用に当たっての評価を行うために聞き取り調

査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

第7章 契約変更

第7－1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- （1）第2－3条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- （2）第3－1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- （3）第4－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- （4）第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- （5）履行期間の変更が生じた場合。
- （6）関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- （7）その他

第8章 定めなき事項

第8－1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別 表

不開示とする情報	該当項目	該当条項
個人に関する情報 及び法人その他団 体に関する情報	<p>1. 記述等により特定の個人を識別することができる情報</p> <p>①受注者氏名</p> <p>②個人・会社の印影</p> <p>③実施設計に必要な各種調査結果の記載された調査員等の氏名</p> <p>④打合せ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名</p> <p>⑤図面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等</p> <p>⑥顔写真</p> <p>⑦技術提案等の当該法人の知的財産に関する情報</p> <p>⑧概算金額算出のための材料単価等見積もり業者名</p> <p>⑨IPアドレス等機器の接続情報</p> <p>⑩その他（公にすることにより個人・会社の権利利益を害する恐れのある情報）</p>	<p>行政機関の保有する情報の公開に関する法律</p> <p>第5条第一号及び第二号イ</p>

【作業項目内訳表】開水路実施設計及び積算参考資料作成

作業項目	作業内容	作業 実施欄	備考
1. 現地調査	・実施設計に必要な調査を行う。	○	
2. 資料の検討	・実施設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。	○	
3. 設計計画		○	
3-1. 基本条件の検討	・詳細実測資料に基づく水理構造条件を決定する。	○	
3-2. 水路タイプ及び断面計上の検討	・水路タイプ及び実施断面の詳細を決定する。	○	
4. 水理検討		○	
4-1. 定常水理解析	・詳細水理計算を行う。	○	
4-2. 非定常水理解析	・詳細水理計算を行う。	○	
5. 構造計算	・各実施断面についての詳細構造計算を行う。	○	
6. 構造図作成	・全断面の構造一般並びに構造配筋図、鉄筋加工図、その他バレル割り、ドレーン等の構造詳細図、安全施設の詳細図を作成する。	○	
7. 平面縦断面図作成	・平面縦断面図に全タイプの位置及び断面の表示、タイプ区分、附帯施設等を記入した平面縦断面図を作成する。	○	
8. 土工図作成	・土工横断面図を作成し、施工法区分（単価区分）ごとの切盛土量、法面保護工長、用地幅等を詳細に記入した土工図を作成する。	○	
9. 数量計算	・施工法区分やタイプごとのコンクリート、附帯工材料、仮設工材料等の詳細数量計算を行う。	○	
10. 施工計画	・施工基本方針の検討、土工計画、構造物据付計画、コンクリート打設計画、工事用道路計画、仮排水計画、全体工程計画等を作成する。	○	
11. 積算参考資料作成			
11-1. 設計図作成	・本業務の設計図（仮設図を含む）を修正し、工事発注図面を作成する。 ここでいう修正とは、工区割りによる修正、施工範囲の明示、図面タイトル修正をいう。	○	
11-2. 数量計算書作成	・本業務の数量計算書を発注予定工事ごとに取りまとめる。	○	
11-3. 施工計画書作成	・本業務の施工計画（仮設工事計画含む）及び工事工程表の修正を行う。	○	
11-4. 積算資料及び施工単価条件資料の作成	・各工種において、積算の根拠（施工歩掛、施工機械の選定等）資料及び施工単価条件の選定資料等を作成する。	○	

【作業項目内訳表】開水路実施設計及び積算参考資料作成

(2 / 2)

作業項目	作業内容	作業 実施欄	備考
11－５．特別単価作成	・単価を作成する際、土地改良工事積算基準及び工事工種体系が定められていない工種で各歩掛を組み合わせ構成した方が適切な場合には、特別単価の作成を行う。	○	
11－６．標準積算システム作成	・八代平野農業水利事業所において、標準積算システムを利用して積算書を作成する。	○	
12．特別仕様書作成	・工事実施に必要な特別仕様書を作成する。		
13．概算工事費積算	・各工種の単価を作成し、概算工事費を算定する。		
14．総合検討	・上記作業について総合的に検討する。	○	
15．照査	・照査計画に基づき、業務の節目ごとに照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	○	
16．点検取りまとめ	・水理構造計算、数量計算の点検、図面の点検取りまとめ及び報告書作成を行う。	○	

【作業項目内訳表】 調査作業

(1 / 2)

作業項目	単位	数量	備考
1. ボーリング			
1-1. ボーリング (水路左岸側)	孔	3	
φ66、L=36.0m、オールコア、50m以下、鉛直下方			
土質ボーリング (粘性土・シルト)	m	4.5	水路左岸側の地質構造や物性値を確認するため、ボーリング3孔を実施する。
土質ボーリング (礫混じり土砂)	m	31.5	
岩盤ボーリング (軟岩)	m	—	
土質ボーリング (固結シルト・固結粘土)	m	—	
1-2. ボーリング (水路右岸側)	孔	3	
φ66、L=33.0m、オールコア、50m以下、鉛直下方			
土質ボーリング (粘性土・シルト)	m	4.5	水路右岸側の地質構造や物性値を確認するため、ボーリング3孔を実施する。
土質ボーリング (礫混じり土砂)	m	28.5	
岩盤ボーリング (軟岩)	m	—	
土質ボーリング (固結シルト・固結粘土)	m	—	
1-3. ボーリング (サンプリング)	孔	4	
φ86、L=44.0m、ノンコア、50m以下、鉛直下方			
土質ボーリング (粘性土・シルト)	m	6.0	水路基礎部の物性値を確認するため、サンプリング用ボーリング4孔を実施する。
土質ボーリング (礫混じり土砂)	m	38.0	
岩盤ボーリング (軟岩)	m	—	
土質ボーリング (固結シルト・固結粘土)	m	—	
シンウォールサンプリング	本	4	
2. 標準貫入試験			
2-1. 標準貫入試験 (水路左岸側)	孔	3	
粘性土・シルト	回	3	
礫混じり土砂	回	33	
2-2. 標準貫入試験 (水路右岸側)	孔	3	
粘性土・シルト	回	3	
礫混じり土砂	回	30	
3. 現場透水試験 (ケーシング法)	回	2	水路左右岸1回ずつ、GL-20m以内
4. 足場仮設			
平坦地足場、高さ0.3m超、50m以下	箇所	10	1L～4RNを対象

【作業項目内訳表】 調査作業

(2 / 2)

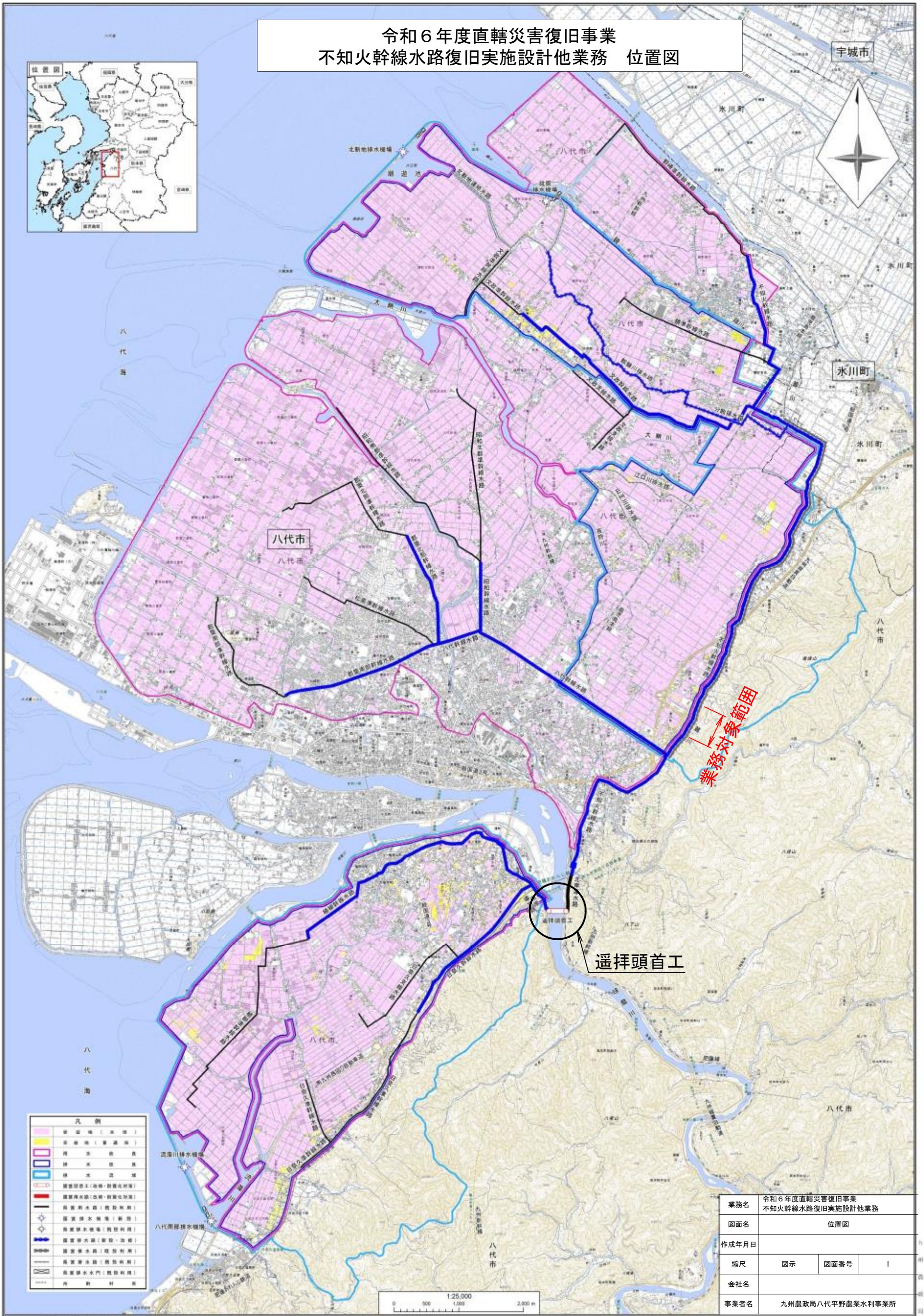
作業項目	単位	数量	備考
5. 室内土質試験			
土粒子の密度試験	試料	6	JIS A 1202、3個/試料
土の含水比試験	試料	6	JIS A 1203、3個/試料
土の粒度試験	試料	6	沈降分析（ふるい分析含）
土の液性限界試験	試料	6	JIS A 1205、6点/試料
土の塑性限界試験	試料	6	JIS A 1205、3個/試料
三軸圧縮試験（UU 試験）	試料	4	1 試料につき 3 供試体
6. 解析等調査業務			
既存資料の収集・現地調査 （解析等調査業務）	業務	1	
資料整理取りまとめ （解析等調査業務）	業務	1	
資料整理取りまとめ （一般調査業務）	業務	1	
断面図等の作成 （解析等調査業務）	業務	1	
断面図等の作成 （一般調査業務）	業務	1	
総合解析取りまとめ （解析等調査業務）	業務	1	

令和6年度直轄災害復旧事業
不知火幹線水路復旧実施設計他業務

図面目録

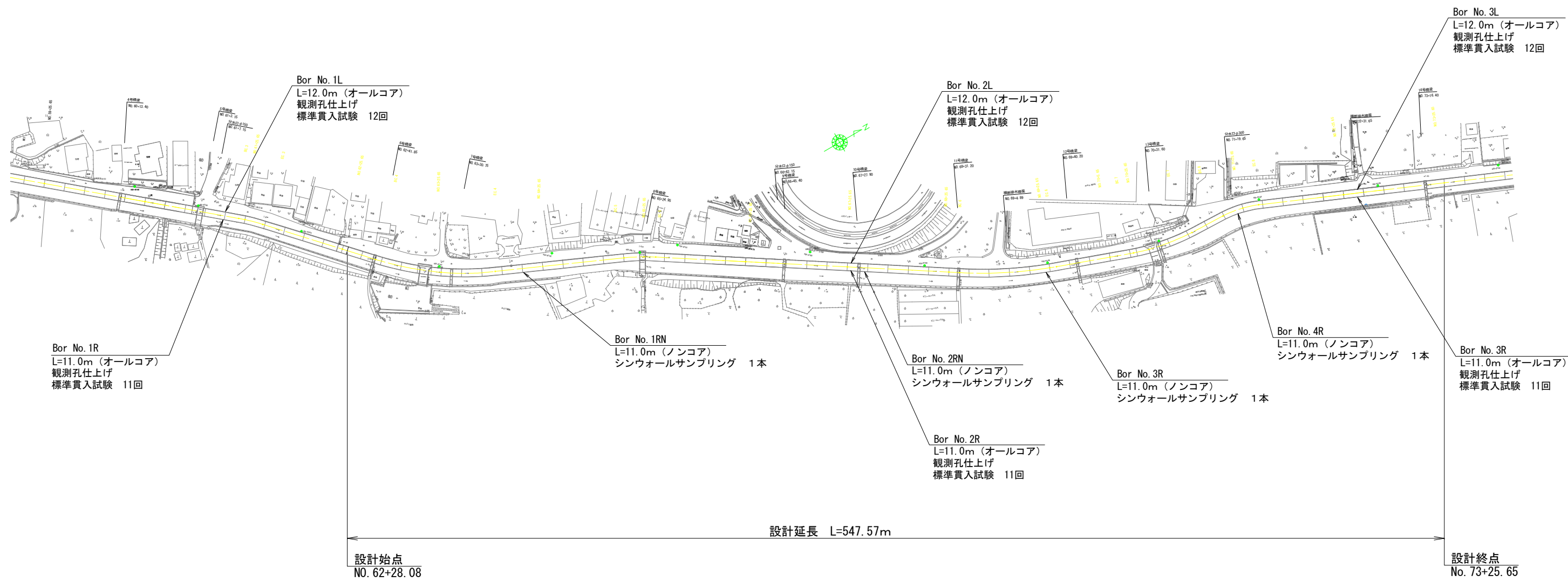
番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	全体平面図	1	
計		2	

令和6年度直轄災害復旧事業
不知火幹線水路復旧実施設計他業務 位置図



業務名	令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧実施設計他業務		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1
会社名			
事業者名	九州農政局八代平野農業水利事業所		

全体平面図



業務名	令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧実施設計他業務		
図面名	全体平面図		
作成年月日			
縮尺	1/1,000	図面番号	1
会社名			
事業所名	九州農政局 八代平野農業水利事業所		